



訪問した8月18日は、誘引作業の真っ最中で、汗をびっしょりかきながらこまめな管理作業をされていました。8月8日に1400本の苗を植えられたとのこと。伸びてくる蔓を支柱やネットに這わせ、一つひとつ専門の器具で止められていました。

作業で大変なことは「この暑さ!」と話されました。また「これからは台風が心配」とも。風通しを良くしたり、枝葉を整えたり、こまめな管理作業をコツコツとされていました。虫対策としては黄色粘着トラップが取り付けられていました。農家さんのご苦勞を感じることができました。

キュウリは、新鮮なうちに生のままで食べるのが一番とのことでしたが、家の光7月号付録に「カリカリキュウリ」の作り方が掲載されていたので、要約してご紹介します。

西合志中央支所管内のスイカ農家さんは、秋にキュウリを栽培されている方が多く、おいしいキュウリが出荷されています。キュウリ部会の大倉雄太郎部会長を訪ねてみました。

※大倉さんは、春と秋にスイカを出荷されています。



西合志農経済センター
購買課の
山下 勇真です。

リポーター

西合志中央支所
金融共済課融資係の
本田 ひかりです。

絶対おいしい『キュウリのカリカリ漬け』

材料

キュウリ…4本
塩…小さじ1と1/2

A

しょうゆと酢…各大さじ2
砂糖…小さじ4
ごま油…小さじ2

作り方

- ①キュウリは袋に入れ塩でよくもみ重石をして1時間～1晩おく。
- ②袋からキュウリを取り出し絞って容器へ
- ③タレAを鍋に入れ煮たてて②のキュウリにかけ冷ます。



家の光7月号
付録より

菊農通信 番外編

農業鑑定大会 野菜部門で最優秀賞受賞！

目指すはトマト農家日本!!

農業高校生が農業に関する知識や技術を競う「農業鑑定競技会」の県大会が7月30日に開かれ、菊池農業高校農業科1年生の早川千瀬さんが野菜部門で最優秀賞を受賞しました。
※各専門分野で得た知識や技術を駆使して鑑定・判定・診断などの能力を競いました。



最優秀賞の盾を手にする早川さん

※10月に全国大会が山梨県甲斐市で開かれます。早川さんは「まず農業鑑定競技大会で日本一を目指し、弓道、トマトでも日本一を目指します」と意欲的です。岩坂先生は「彼女の菊農ライフは始まったばかり。今後の成長が楽しみです」と笑顔でした。

早川さんは愛知県常滑市出身で将来トマト農家になりたいという夢があり、日本中の農業高校を調べて、トマト生産量日本の熊本県で勉強したいと菊池農業高校農業科に入学しました。寮生活をしながら、勉強に部活に頑張っています。

弓道部にも所属し、鑑定競技の勉強は部活のない水曜と土曜の午後と日曜に。夏休みも午前中は弓道、午後は鑑定という生活を続けていました。鑑定の指導をした農業科主任の岩坂教諭は弓道部の顧問でもあり、日ごろから農業関係の授業は勿論、弓道に加えて鑑定大会の勉強も指導。二人三脚で掴んだ最優秀賞です。

に向けて勉強に励み、見事1位の最優秀賞を獲得しました。